

まちづくりの目標	3	みどりうるおう環境を大切にすまち
政策	2	自然豊かな憩い、安らぐまちにします

施策	1	水と緑に親しめるまちにします	担当部(統括部)	都市整備部
----	---	----------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	水と緑のネットワーク整備が進み、市の魅力スポットとなっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	協働による河川・水路の管理が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	市民や事業者の積極的な活動により、市内各地の緑化が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
水と緑のネットワーク整備延長距離	目標	—	—	—	3,983 m	4,483 m	4,983 m	4,983 m	4,983 m	4,983 m	4,983 m
	実績	3,383 m	3,383 m	3,483 m	3,983 m	4,423 m					
緑被率(平成9年度15.0%)	目標	—	—	—	—	—	※前期終了年度までの目標値は、平成24～25年度で改定する「緑の基本計画」で決定				20.0%
	実績	—	—	—	—	16.8%					
アドプト・リバーの参加団体数	目標	—	—	—	1団体	1団体	1団体	1団体	2団体	2団体	3団体
	実績	0団体	1団体	1団体	1団体	1団体					
花とみどりの地域づくりに興味を持つ団体の数	目標	—	—	—	43団体	43団体	44団体	45団体	45団体	45団体	50団体
	実績	37団体	43団体	43団体	43団体	33団体					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎河川公園・緑地の整備						平成26年度事業費計
						5,200千円
ふれあいづくり事業について基盤整備を受け持つ大阪府に早期整備の要望を行い、基盤整備が完了した地域から環境整備を行います。また、淀川河川公園の早期整備を国に要望します。						
平成26年度事業	◇ふれあいづくり事業0円(公園みどり課)・★淀川河川敷多目的広場整備事業5,200千円(公園みどり課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間 平成27年度		後期終了年度 平成32年度
計画	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづくり事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづくり事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづくり事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづくり事業の復活要望	大阪府に対して、安威川・大正川ふれあいづくり事業の復活要望	
取組実績	大阪府に対して、平成25年度の事業実施について確認した。					
成果	基盤整備事業が進展しないため、市として環境整備も進まず、「水と緑のネットワーク整備」が進捗していない。					
次年度課題	整備には府の予算措置が不可欠ですが財政状況を鑑みると当面は困難と思われる。					
計画	淀川河川公園(鳥飼下)の実施設計(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の未整備箇所工事着手(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の未整備箇所工事着手(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の未整備箇所工事着手(国土交通省)	淀川河川公園(鳥飼下)の未整備箇所工事着手(国土交通省)	
取組実績	淀川河川公園中流右岸地域協議会にて、国から提示された整備方針にて概ね整備が行われた。					
成果	鳥飼下地区の河川公園の最終決定案にて、工事に着手し、グラウンドゴルフ等の多目的な利用ができる広場の整備が概ね行われた。					
次年度課題	未実施箇所の早期整備の働きかけをし緊密に協議を行っていく必要がある。					

	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	「さくらづつみ」事業 延長500m施工	—	—	—	—	
取組実績	さくらづつみの事業を実施し、水路管理者等と協議を行った結果、不法に使用されている箇所を除いて植樹を440m実施した。					
成果	既存のさくらづつみが440m延長され、新たな名所として整備を進め、完了した。					
次年度課題	—					
計画	—	淀川河川敷に市民のための多目的広場として占用できるように、河川利用委員会に諮る。	多目的広場整備のための、実施設計を行い、国交省と整備内容等について協議し、占用許可を受ける。	淀川河川敷に市民がスポーツなどが可能な多目的広場の整備を行う。	芝の養生等のための期間を置く。利用に関する取り決め等を国交省並びに市関係課と調整する。	淀川河川敷に市民のための多目的広場のを市民が多目的に利用。
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎協働による河川管理の推進	平成26年度事業費計 4,272千円
---------------	-----------------------

アドプト・リバーなどの自主的な美化活動を支援し、協働による河川や水路の清掃などを行い、管理の充実を図ります。

平成26年度事業 ◇農業水路管理事業4,272千円・◇アドプト・リバー支援事業0円(下水道事業課)

	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	地域との協働による水路管理の現況把握	協働による水路管理の実施
取組実績	年間を通じて、水路清掃や美化活動など、地域住民が行う活動に対する支援を行った。					
成果	地域住民と水路の管理について連携を深めることができた。					
次年度課題	水路管理における連携の在り方について引き続き検討を行っていく必要がある。					
計画	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援
取組実績	地域住民と神安土地改良区との協働によって、味生水路の美化活動を行った。					
成果	水路の美化が進み、地域住民の住みやすさ、快適さを向上させる協働のまちづくりを実践することができた。					
次年度課題	支援を継続していく必要がある。					

○河川遊歩道の活用	平成26年度事業費計 —
-----------	-----------------

協働でイベントを開催するなど、河川遊歩道をにぎわいの場として積極的に活用します。

平成26年度事業 全課

	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用	市主催・市民主体のイベントで河川遊歩道を活用
取組実績	市主催(子供フェスティバル・ろうそくファンタジー)・市民主体(チューリップアート・大正琴演奏)のイベントで遊歩道の使用を積極的に許可している。					
成果	公園がイベントの会場として活用されることにより市民の活動拠点として利用されるようになり、またイベント主催者による自主的な除草が行われた。					
次年度課題	公園の草の繁茂状況によりイベント開催時期に合わせた除草が管理上難しくなっている。					

◎事業者による緑化の推進						平成26年度事業費計
						—
事業者との協力体制を強化し、事業所施設における緑化を推進します。						
平成26年度事業	◇緑の環境形成促進事業0円(公園みどり課)					
	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	協働運営の公園(広場)の試験運用	協働運営の公園(広場)の本格稼働	協働運営の公園(広場)を例に挙げ、企業へのPRを実施	協働運営の公園(広場)を見本として、企業へのPRを実施	協働運営の公園(広場)を見本として、企業へのPRを実施	協働運営の公園(広場)を見本として、企業へのPRを実施
取組実績	企業が整備する緑地の共同運営を実施。					
成果	㈱カネガが「ビオトープ」の整備を行い、今後の整備及び管理は市民団体「ほたる研究会」が行い、せせらぎの整備、緑道の設置した。					
次年度課題	ほたる研究会にてせせらぎの管理運営や水生生物の調査研究を行う。					

○緑化活動の支援						平成26年度事業費計
						6,236千円
花とみどりの相談所で緑化の相談・指導を行うとともに、自治会をはじめとする地域団体やボランティア団体の育成・支援を行います。						
平成26年度事業	◇花壇等の維持管理充実事業2,607千円・◇花いっぱい活動助成事業1,132千円・◇花とみどりの相談所運営事業146千円・◇緑化推進事業909千円・◇緑化推進連絡会補助事業1,442千円(公園みどり課)					
	平成24年度	平成25年度	第4期実施計画期間			後期終了年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導	「花とみどりの相談所」で相談・指導
取組実績	緑化相談を102件受け、問題解決にあたった。					
成果	花と緑の相談所で緑化の相談・指導を行い、市民に幅広い花の知識を持ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要。					
計画	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成	「花いっぱい活動」団体に対して支援を行い、「花と木の実践教室」で指導者を育成
取組実績	「花いっぱい活動」団体に、肥料、苗、種等の現物支給を行った。「花と木の実践教室」を24回開催し、25人の参加。					
成果	1か年を通じて、「花と緑の実践教室」で市民に直接緑化指導を行うことにより、豊富な知識を養ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要。					
計画	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	都市公園内に花壇の造成	ちびっこ広場、公園に花壇の造成
取組実績	正雀地区のすずめちびっこ広場に新たな花壇を設置。					
成果	地元自治会と協働で、新たな花壇を設置し、花壇活動を行い、地域活動が活発になった。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要。					
計画	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進	緑化推進連絡会との協働による「花いっぱい活動」の推進
取組実績	道路沿いや公園内にある花壇の管理、植え替えや、誕生記念植樹祭、市民健康まつりでの緑化の啓発活動を協働で行った。					
成果	緑化推進連絡会と協働で啓発活動を行ったことで、市民に広く花壇活動を知ってもらうことができた。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の実践教室、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花とみどりの相談所のPRの方法について検討	花いっぱい活動、鶴野苗圃、花と木の相談所のPRの方法について検討
取組実績	「広報せつつ」に花と木の実践教室、また、鶴野苗圃、花とみどりの相談所、花と木の相談所、緑化の支援についてホームページへ掲載を実施した。					
成果	「広報せつつ」で緑化活動の支援をPRしたことにより、「花と木の実践養成教室」への参加者が増し、緑化に対する啓発となった。					
次年度課題	緑化活動に指導的に関わる新たな人材の発掘が必要。					
計画	他市町で緑化活動状況を調査し、アドバイザー等の指導者の有無や役割や方法について再整理	緑化活動アドバイザー等の指導者の役割や育成方法について検討	緑化活動アドバイザー等の指導者の育成指導について検討	緑化活動アドバイザー等の指導者の育成指導を実施	緑化活動アドバイザー等の指導者による地域自治会等で花苗の育成指導を実施	緑化活動アドバイザー等の指導者により地域で種から花苗の育成を実施
取組実績	大阪府下の市町に緑化活動状況のアンケートを行った。					
成果	40市町からの回答があり、花壇を設置及び管理の状況、管理に対する支援の方法等を把握することができた。					
次年度課題	他市町の緑化活動状況も参考に摂津市としての取り組みを検討する必要がある。					

★その他	平成26年度事業費計 -
------	-----------------

施策全体にかかる取組み						
平成26年度事業	◇緑の基本計画改定事業0千円(公園みどり課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	緑の現況調査、市民アンケートの実施により、現況解析及び課題整理	緑の基本計画改定	緑の基本計画に関連する取組みを把握	緑の基本計画に関連する取組みを把握	緑の基本計画に関連する取組みを把握	緑の基本計画に関連する取組みを把握
取組実績	現況調査、市民アンケートを行った。調査をもとに学識経験者、市民の意見交換を行った。					
成果	緑の現況の把握、市民の緑に対する意識を把握し、懇談会等にて意見交換を行った。					
次年度課題	現況調査、市民アンケート等の結果を踏まえ、懇談会等を開催し、緑の基本計画改定を行う。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

安威川・大正川遊歩道の整備	平成26年度事業費計 -					
ジョギング・ウォーキングに利用しやすいよう、遊歩道への距離表示や健康遊具の設置を行います。また、市の魅力として、緑の散策路マップを作成します。						
平成26年度事業	★距離標設置委託事業1,000千円(公園みどり課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	距離標の設置について隣接市と協議。	遊歩道の設置箇所について河川管理者と協議。	遊歩道の設置箇所について河川管理者と協議を進め、測量、実施設計	遊歩道工事	遊歩道の利用についてPRを実施	遊歩道が周知され地域の散策路として利用されている。
取組実績	遊歩道に設置する距離表示について、検討を行った。					
成果	近隣市の動向も勘案し、距離標の設置の有効性について、調査及び検討を行う必要があることを確認した。					
次年度課題	距離標設置について、有効性、及び市民利用の方法について調査及び検討を行う必要がある。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	他市の状況も勘案しながら、ピックアップするものを検討	散策路マップ作成	散策路マップの活用に向けてPRを実施	散策路マップ改定
取組実績	散策路の作成について、ピックアップするものを検討した。					
成果	散策路の作成について、ピックアップするものの条件や利用方法の検討を行った。					
次年度課題	散策路マップの作成について検討を重ねる。					

河川堤防敷を活用した桜並木の取組み	平成26年度事業費計
	—

大阪府、神安土地改良区と共同で、新幹線公園から番田水路を上流に向かって桜の植樹を行います。また、その他の河川堤防敷の活用も検討します。

平成26年度事業						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	「さくらづつみ」事業 延長500m施工	—	—	—	—	
取組実績	さくらづつみの事業を実施し、水路管理者等と協議を行った結果、不法に使用されている箇所を除いて植樹を440m実施した。					
成果	既存のさくらづつみが440m延長され、新たな名所として整備を進め、完了した。					
次年度課題	—					

アドプト・リバーなどの推進	平成26年度事業費計
	—

自治会や事業者、ボランティア団体などが取り組む美化活動を支援し、拡充します。

平成26年度事業						
アドプト・リバー支援事業0円(下水道事業課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援	アドプト・リバー等の活動支援
取組実績	地域住民と神安土地改良区との協働によって、味生水路の美化活動を行った。					
成果	水路の美化が進み、地域住民の住みやすさ、快適さを向上させる協働のまちづくりを実践することができた。					
次年度課題	支援を継続していく必要がある。					